



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

地域農業の振興、
産地拡大を図り
魅力ある農業の
実現をめざす

あけましておめでとうございます。
組合員並びに日頃より当JAを
御利用頂いております皆様には、新年
は明るく健康で農業に取り組める
年でありますようお願いしております。

さて、昨年を振り返ってみます
と、「天候に泣かされた」そんな
年であったと思われまます。6月の
低温・日照不足、夏場や秋の収穫
期での大雨といった厳しい環境状
況で、水稻の生育や畑作物の管理

に大変苦勞しましたが、営農指導
の徹底と農家の努力、栽培技術で
乗り越えた年でありました。

平成29年度の稲作については、
東北農政局が発表した県北部の作
況は「99」となり、平均収量は
556/10aとなりました。当J
Aの集荷数量は計画対比93・0%
(平成29年12月14日現在)、一等
米比率は94・8%の実績となりま
した。今後、高品質、良食味米の
栽培に向け、土壌改良剤の施用に
よる地力向上や水田内外の雑草対
策などを検討し、安全・安心な信
頼される『あきた白神米』作りに
取り組んでまいります。

青果物については、「白神ね
ぎ」の販売額が12月中旬には販
売額13億円を超え、今年度は
14億3千万円の販売額を目指し、
残された期間、全力で有利販売に
努めてまいります。また、「白神
みょうが」につきましては、根茎
腐敗病の発生が懸念されました
が、そのような被害も少なかった
こともあり、収穫は遅れたものの

謹んで新年の

ご挨拶を

申し上げます

代表理事組合長

佐藤 謙 悦

代表理事専務

佐原 操

常務理事

小林 義 昌

理事

佐々木 博 子

理事

桂 田 忠 雄

理事

中 川 正 一

理事

大 塚 公 隆

理事

齊 藤 幸 蔵

理事

池 端 秀 巳

理事

金 谷 隆 夫